

平成27年度行政事業レビューシート

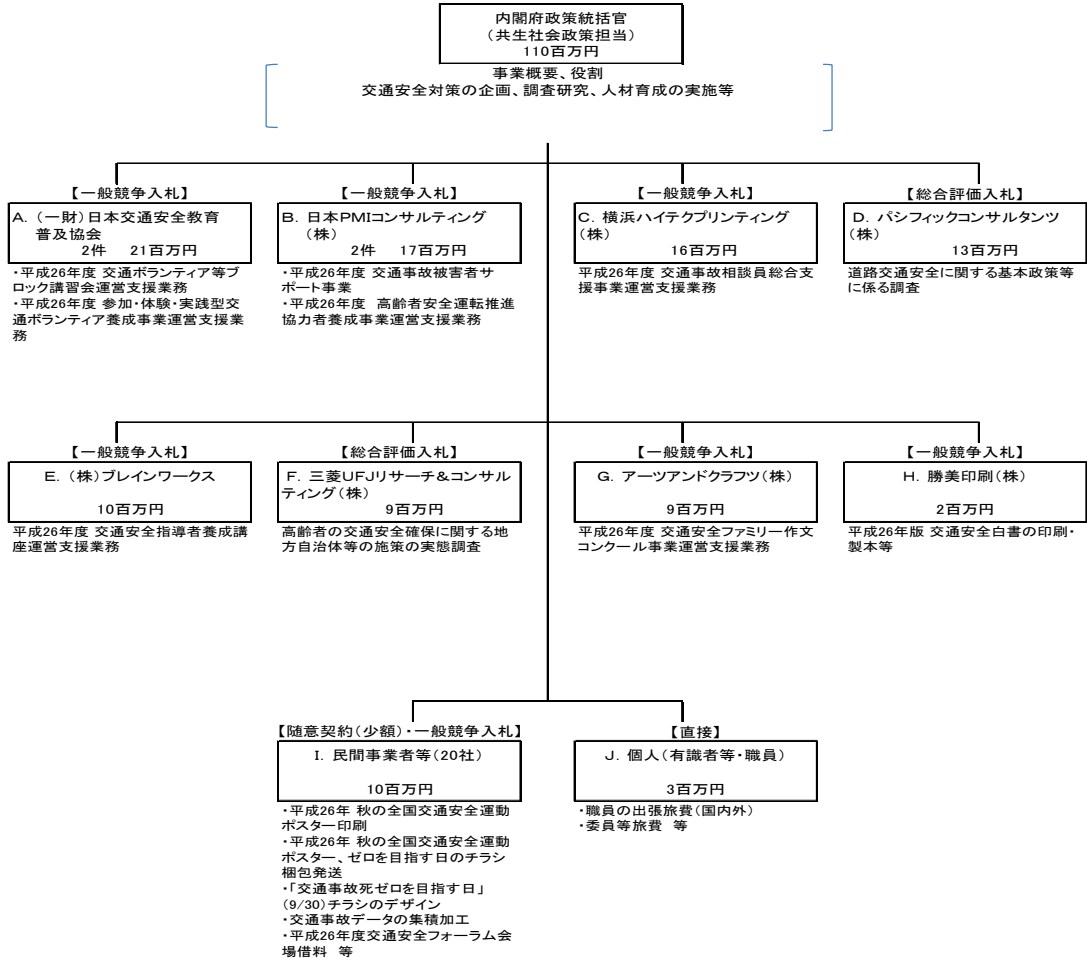
(内閣府)

事業名	交通安全対策推進経費			担当部局庁	政策統括官(共生社会政策担当)			作成責任者
事業開始年度	昭和45年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	交通安全対策担当			参事官 福田 由貴
会計区分	一般会計			政策・施策名	57 交通安全対策に関する広報啓発、調査研究等(政策13-施策⑫)			
根拠法令(具体的な条項も記載)	交通安全対策基本法			関係する計画、通知等	交通安全基本計画			
主要政策・施策	交通安全対策			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通安全対策基本法に基づき交通安全基本計画の作成及びその推進を図るとともに、交通社会に参加する国民全てが、正しい交通マナーと交通安全の意識を持ち、交通事故を起こさない、遭わないという、意識の高揚を図り、安全な交通社会を形成すること。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に関する施策の大綱となる交通安全基本計画の策定のほか、国を始め社会全体として取り組むべき重要施策等の推進を図るため、交通安全対策に関わる施策についての調査研究等を実施する。 地域の交通安全活動に積極的に取り組んでいる交通ボランティア等の育成を図るため、交通安全指導等に必要な知識や技術等を学ぶ機会を提供するほか、交通事故被害者等が交通事故による精神的被害から立ち直ることができるようにするため、交通事故被害者に接する立場にある者の資質向上や交通事故被害者の自助グループに対する支援を行う。 春・秋の全国交通安全運動、交通安全フォーラム、交通安全功労者表彰、交通安全ファミリー作文コンクールの実施により、国民の交通安全意識の高揚を図る。 							
実施方法	直接実施、委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	154	144	127	116		
		前年度から繰越し	▲0.1	—	—	—		
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—		
		予備費等	—	—	—	—		
		計	153.9	144	127	116	0	
	執行額	109	106	110				
	執行率(%)	71%	74%	87%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 — 年度	
	春・秋の全国交通安全運動の実施等を通じて、普段から交通安全を意識していると思う人の割合を95%に近づける	成果実績	%	—	40.3	41.2		
		目標値	%	—	95	95	—	
		達成度	%	—	42.4%	43.4%		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32 年度	
	春・秋の全国交通安全運動を始めとした施策が、交通安全の意識向上に役立っていると思う人の割合を70%に近づける	成果実績	%	—	—	—		
		目標値	%	—	—	—	70	
		達成度	%	—	—	—		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32 年度	
	自動車の運転、自転車等の運転や歩行の際に、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動をしている人の割合を98%に近づける	成果実績	%	88.7	80.2	81.1		
		目標値	%	90	90	98	98	
		達成度	%	98.6%	89.1%	82.8%		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	交通安全調査研究	活動実績	回数	2	2	2		
		当初見込み	回数	2	2	2	2	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	全国交通安全運動(交通事故死ゼロを目指す日を含む)	活動実績	回数	2	2	2		
		当初見込み	回数	2	2	2	2	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	活動実績	当初見込み					
交通安全フォーラム	活動実績	回数	回数	1	1	1	
	当初見込み	回数	回数	1	1	1	1
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X=2.5百万円(交通安全白書制作の決算額)／Y=1回(作成回数)						
単位当たりコスト	算出根拠	単位	百万円	2.6	2.4	2.5	2.7
	計算式	X/Y		2.6/1	2.4/1	2.5/1	2.7/1
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X=22.3百万円(交通安全調査研究経費の決算額)／Y=2回(実施回数)						
単位当たりコスト	算出根拠	単位	百万円	7.6	5.2	11.2	11.8
	計算式	X/Y		15.1/2	10.3/2	22.3/2	23.6/2
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X=6.4百万円(全国交通安全運動経費の決算額)／Y=2回(実施回数)						
単位当たりコスト	算出根拠	単位	百万円	3.4	3.3	3.2	3.3
	計算式	X/Y		6.7/2	6.6/2	6.4/2	6.5/2
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X=1.8百万円(交通安全フォーラムの決算額)／Y=1回(実施回数)						
単位当たりコスト	算出根拠	単位	百万円	2.2	1.8	1.8	3.7
	計算式	X/Y		2.2/1	1.8/1	1.8/1	3.7/1
平成27-28年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	94					
	職員旅費	3					
	委員等旅費	1					
	庁費	18					
計	116	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	・悲惨な交通事故を無くすため、常に交通安全について国民に意識を持ち続けてもらうためにも、引き続き、交通安全の知識の普及、交通安全思想の高揚を図っていく必要があり、社会のニーズを反映していると言える。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	・悲惨な交通事故を無くすため、常に交通安全について国民に意識を持ち続けてもらうためにも、引き続き、交通安全の知識の普及、交通安全思想の高揚を図っていく必要があり、国が推進すべき事業と位置付けられる。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	・第9次交通安全基本計画の講じようとする施策として、交通安全思想の普及徹底の項が設けられていることから、優先度の高い事業となっている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・支出先の選定に当たっては、基本的には一般競争入札又は見積り合わせを行うことにより競争性のある調達方式としている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	・単位あたりコストの削減では、例えば、講習会等の実施に当たり、受託業者との間で、講習会実施後に参加人数、参加者の行程等を踏まえた支出実績に基づいて旅費の精算を行うなど、適正な支出に努めた結果、経費の節減をすることができた。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	・交通安全対策に必要な事業の経費として執行している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	職員旅費に関して、同方面の出張を併せて実施し、旅費の削減に取り組む等している。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△	春・秋の全国交通安全運動の実施等を通じて、普段から交通安全を意識していると思う人の割合について、目標を大きく下回ったため。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・活動実績では、当初の予定通りに着実に全ての活動を実施した。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	・内閣府では交通安全対策基本法に基づき、交通安全白書の作成や各種交通安全対策に係る調査研究(2件)、人材育成事業に取り組んでいる。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	・交通ボランティア等に対する人材育成事業などにおいては、地方がそのノウハウを学びとり、自らその事業を行うなどの効果が見られる。また、調査研究事業についても、調査研究結果を地方自治体等に提供するなど、交通安全施策等の推進に寄与している。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	・事業廃止や縮小のほか、経費削減や事業効率化などを図り予算の縮減に努めた結果、平成27年度の交通安全対策関係予算は対前年度比減とした。			
	改善の方向性	・事業実施に当たり、その手法や効果等について検討し、引き続き事業の見直しや統廃合を進めるとともに予算の効果的・効率的執行に努める。 ・全国交通安全運動においては、ポスターの印刷など協賛団体等の協力を得て実施しており、引き続き、効果的・効率的な執行に努める。特に、春・秋の全国交通安全運動については、上記調査結果において目標値を達成しない割合である事実をも引用して地方公共団体に周知しつつ、春・秋の全国交通安全運動の一層の周知への協力依頼を行うほか、地域提案型交通安全支援事業について、地方公共団体からの提案を受け、当該地域の実情を踏まえた上で、当該地域において必要な交通安全に資する事業を実施することにより、地域における自主的な交通安全活動を推進する。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	124	平成23年度	131	平成24年度	127
平成25年度	88	平成26年度	84		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(一財)日本交通安全教育普及協会			E.(株)プレインワークス		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金・旅費	講師、参加者等	14	諸謝金・旅費	参加者等	8
借料	会場借料等	4	借料	会場借料等	1
その他	一般管理費、消費税等	2	その他	一般管理費、消費税等	1
印刷製本費	資料、パンフレット、チラシ等	1			
計		21	計		10
B.日本PMIコンサルティング(株)			F.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金・旅費	研究員、参加者等	11	諸謝金・旅費	研究員等	6
借料	会場借料、機器レンタル料等	2	印刷製本費	報告書等	1
印刷製本費	報告書、パンフレット、チラシ等	2	雑役務費	サーバー使用料等	1
雑役務費	速記料、保険料等	1	その他	一般管理費、消費税等	1
その他	一般管理費、消費税等	1			
計		17	計		9
C.横浜ハイテクプリンティング(株)			G.アーツアンドクラフツ(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金・旅費	研究員等	12	諸謝金・旅費	審査員、受賞者等	3
借料	会場借料等	2	印刷製本費	募集チラシ、入賞作品集等	2
印刷製本費	実務必携等	1	雑役務費	作品のデータ入力、管理、ホームページ作成等	2
その他	一般管理費、消費税等	1	通信運搬費	募集チラシ、入賞作品集発送等	1
			その他	一般管理費、消費税等	1
計		16	計		9
D.パシフィックコンサルタンツ(株)			H.勝美印刷(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金・旅費	研究員等	10	印刷製本費	交通安全白書	2
消耗品費	事故データ資料	2	その他	消費税等	0
その他	一般管理費、消費税等	1			
印刷製本費	報告書等	0			
計		13	計		2

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.(一財)日本交通安全教育普及協会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)日本交通安全教育普及協会	平成26年度 交通ボランティア等ブロック講習会運営支援業務	13	3者	-
2	(一財)日本交通安全教育普及協会	平成26年度 参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業運営支援業務	8	1者	-

B.日本PMIコンサルティング(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本PMIコンサルティング(株)	平成26年度 交通事故被害者サポート事業	13	1者	-
2	日本PMIコンサルティング(株)	平成26年度 高齢者安全運転推進協力者養成事業運営支援業務	4	2者	-

C.横浜ハイテクプリンティング(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	横浜ハイテクプリンティング(株)	平成26年度 交通事故相談員総合支援事業運営支援業務	16	2者	-

D.パシフィックコンサルタンツ(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パシフィックコンサルタンツ(株)	道路交通安全に関する基本政策等に係る調査	13	1者	-

E.(株)ブレインワークス

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ブレインワークス	平成26年度 交通安全指導者養成講座運営支援業務	10	3者	-

F.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	高齢者の交通安全確保に関する地方自治体等の施策の実態調査	9	2者	-

G.アーツアンドクラフツ(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アーツアンドクラフツ(株)	平成26年度 交通安全ファミリー作文コンクール事業運営支援業務	9	2者	-

H.勝美印刷(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	勝美印刷(株)	平成26年版 交通安全白書の印刷・製本等	2	4者	-

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

I.シンソー印刷(株)			M.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	ポスター印刷	2			
計		2	計		0
J.個人(職員A)			N.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
職員旅費	出張旅費	0			
計		0	計		0
K.			O.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
L.			P.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

別紙3

I.民間事業者(20者)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	シンソー印刷(株)	平成26年 秋の全国交通安全運動ポスター印刷 ほか	2	随意契約	-
2	朝日梱包(株)	平成26年 秋の全国交通安全運動ポスター、ゼロを目指す日のチラシ梱包 発送 ほか	1	随意契約	-
3	(株)ロフト	交通事故死ゼロを目指す日(9/30)チラシのデザイン作成 ほか	1	10者	-
4	(株)miura-ori lab	平成27年春「交通事故死ゼロを目指す日」(5月20日)チラシ印刷	1	随意契約	-
5	文化堂印刷(株)	平成26年秋「交通事故死ゼロを目指す日」(9月30日)チラシ印刷	1	随意契約	-
6	(財)交通事故総合分析センター	OECD加盟国の交通事故データ集計加工業務	1	随意契約	-
7	(株)岡山コンベンションセンター	平成26年度交通安全フォーラムに係る会場借料	1	随意契約	-
8	(株)霞ヶ関東海倶楽部	平成26年度 交通安全功労者表彰に係る会場借料 ほか	1	随意契約	-
9	(株)天賞堂	平成26年度 交通安全功労者表彰に係る銀盃・楯	0	随意契約	-
10	(株)セカンド・サイド	平成27年度 春の全国交通安全運動ポスターのデザイン作成	0	5者	-

J.個人(有識者・職員)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	交通事故で家族を亡くした子供の支援のための意見交換会出席 等	0	-	-
2	職員B	交通事故で家族を亡くした子供の支援のための意見交換会出席 等	0	-	-
3	職員C	各種相談窓口等意見交換会出席 等	0	-	-
4	職員D	交通ボランティア等ブロック講習会出席 等	0	-	-
5	職員E	交通ボランティア等ブロック講習会出席 等	0	-	-
6	職員F	交通ボランティア等ブロック講習会出席 等	0	-	-
7	職員G	平成26年度 交通安全フォーラム出席 等	0	-	-
8	職員H	各種相談窓口等意見交換会出席 等	0	-	-
9	受賞者A	平成26年度 交通安全功労者表彰出席	0	-	-
10	受賞者B	平成26年度 交通安全功労者表彰出席	0	-	-